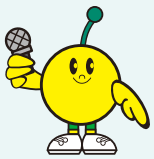
知事インタビュー

内堀知事に、四期目の県政への思いを聞きました。



内堀 雅雄（うちぼり まさお）

福島県知事



総合計画に掲げる「ひと」「暮らし」「しごと」の3本柱に関し、どのように取り組んでいきますか

―「ひと」について

「ひと」を大切にするふくしまを創ります。

出会い・結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージに応じたきめ細かな支援を行うとともに、N―E・X・T（ネクスト）ハイスクール構想や震災・原発事故の経験を踏まえた「ふくしまならでは」の学びの推進など、教育環境の充実に取り組みます。

また、新たに策定する地域医療構想の下、県民の皆さんの健康づくりを支えながら、人も地域も笑顔で元気になれる社会づくりを進めます。

―「暮らし」について

安心・快適な「暮らし」のあるふくしまを創ります。

避難地域の産業・生業（なりわい）の再生や帰還環境の整備はもとより、復興が進む地域の魅力をより一層高めることで移住・定住を促進し、「被災の地」から「希望の地」となるよう取組を加速させていきます。

また、激甚化・頻発化する自然災害にも強いインフラの整備やクマ等の有害鳥獣対策などに取り組み、県民の皆さんの命と暮らしを守るとともに、物価高騰の社会情勢の変化にも丁寧に対応していきます。

―「しごと」について

働きたい「しごと」があるふくしまを創ります。

県内産業を支える中小企業の取引拡大や人材の育成・確保等を支援し、経営基盤の強化を図ります。

また、浪江町に開所した福島国際研究教育機構（F―REI）等と連携し、福島イノベーション・コースト構想の成果を積み上げていくとともに、本県の強みをいかした新たな産業集積に取り組みます。さらに、農林水産業や観光業など、本県が誇る地域資源のブランド化・魅力発信を強力に推進していきます。

加えて、道路や港、空港、鉄道等の社会基盤の整備を進め、更なる地域経済の発展を目指します。

―結びに一言お願いします

福島県の誕生から150年が経過しました。この歴史の中で培われてきた不屈の精神、そして、「ふるさと福島」に対する情熱と誇りは、「ふくしまプライド。」として、今を生きる私たちに受け継がれています。この「ふくしまプライド。」を胸に、オールふくしまで、世界に誇れる未来を共に切り拓いていきましょう。

プロフィール

内堀 雅雄 福島県知事

昭和39年3月26日生まれ（62歳）。長野県出身。東京大学経済学部卒業。平成13年福島県生活環境部次長。生活環境部長、企画調整部長、副知事を経て平成26年11月知事就任。

◆趣味／スポーツ観戦、音楽鑑賞

◆好きな言葉／進取果敢（しんしゅかかん）

